



公益財団法人 南砺幸せ未来基金

私たちについて

2019年、想いをもち275名もの志民からのご寄付により「公益財団法人南砺幸せ未来基金」が設立されました。

Vision

南砺に暮らす人々が支えあい、自然と共に持続可能な循環型社会の構築をめざし、人と人をつなぎ、支えあう地域の力を育て、より元気な未来の南砺へつながります。



MISSION

【自分たちの住む地域の未来を自分たちの手で持続可能な地域をつくる】

2019年、想いをもち275名もの志民からの寄付によって公益財団法人南砺幸せ未来基金が設立されました。全国でも数少ない「地域のコミュニティ財団」です。



Values

次世代を担う若者・女性・地域の活気ある取組みなどを通じて、

地域が抱える諸課題の解決を目指す多様な個人や団体に対して、市民自らが支える仕組みを通じて「未来資本」をつくり、

南砺市地域の活性化及び循環共生型の社会を目指しています。

活動のテーマ

- ①暮らしを支える
- ②森里川海のつながりを保全する
- ③生業・起業・ものづくりを支える
- ④地域の食と農業を支える
- ⑤子ども・若者を支える
- ⑥再生可能エネルギーを支える
- ⑦地域の歴史・土徳文化を支える

南砺に関わる皆様からご支援いただいた寄付金等は、当基金を通し、南砺で上記のテーマのいずれかに当てはまる活動をする「個人」や「団体」へ支援されます。

その活動を通して、サービスや商品といった様々な形となり、皆様の元へ循環されます。

また、支援は資金面だけでなく「一般社団法人なんと未来支援センター」との連携により、人やモノといった非資金面での関わりを持つことで、〈人と人の絆〉を育みます。



時代の流れは大きく変化しています

SDGsの17のゴールを達成するために世界中のあらゆるセクターにおいて、『だれ一人取り残さない』という理念のもと、協働しながらすべての目標を達成していく、ということは「今」を象徴する一つの潮流です。個人として企業として「環境や社会の課題にどう対応していくか」ひとりひとりの意識と行動が、より問われるようになりました。



わたしたちにとって素敵な未来は、自分で創る

自分が直接できることをする。
または、自分が直接できなくても、想いを誰かに託すことで間接的な行動を起こす。

自分ではできないことも、自分の代わりに実行してくれる個人・団体・企業を応援することで社会をあなたの望む社会の形へと、一歩前に進ませることができます。

社会や未来のために「何かしたい」と思う気持ち

社会貢献活動のやり方はいろいろあります。
一人一人がその活動を考えていくことそのものに意味がありますが、お金のエネルギーを寄付行為を通じて社会へ還元することもひとつの手段です。

(公財)南砺幸せ未来の活動取り組み



①地域課題解決に向けた事業への助成

- ・ 頑張る人・地域応援事業
- ・ 事業指定寄付プログラム
- ・ 休眠預金等活用助成事業



②地域内資金循環の調査・研究

- ・ 電子地域通貨の調査・研究
- ・ 「電子地域通貨」体験ゲーム開発



③寄付文化醸成のための普及啓発

- ・ ニュースレターの発行（年2回）
- ・ 情報発信（HP・SNS）
- ・ シンポジウムの開催



応募資格

- (1) 市内の地域づくり協議会、町内会及び各種団体
- (2) 市内に活動場所を有する民間事業者、NPO、市民活動団体
- (3) 市内に活動場所を有する個人

頑張る人・地域応援事業

「南砺幸せ未来基金頑張る人・地域応援事業」とは

本基金では、自然と共生しながら地域の資源を活用することで自立度を高め、安心して暮らせる持続可能な自立循環型社会を目指す市民活動を推進しています。

その中で、地域や団体が地域資源を活かした取り組みを実践していくことが重要としており、その活動を支援することを目的として「南砺幸せ未来基金 頑張る人・地域応援事業」を実施しています。

事業化段階で必要となる資金面での支援を行っています。

この助成事業は皆さまのあたたかいご寄付を原資に実施することが可能となりました。

引き続き、皆さまからのあたたかいご寄付をお待ちしております。



【採択団体】 <採択された事業（五十音順）>

- 「第1回 頑張る人・地域応援事業」 募集期間 2020年3月1日～3月31日
選考会 5月14日 採択件数3件（応募件数8件）
 【申請者】 テラまちコネクト（代表 齊藤優華） 助成額297,380円
 【申請者】 なんとのね（代表 山崎佑二郎） 助成額300,000円
 【申請者】 ふくみっつ（代表 石崎法子） 助成額300,000円
- 「第2回 頑張る人・地域応援事業」 募集期間 2020年10月1日～10月30日
選考会 11月27日 採択件数3件（応募件数3件）
 【申請者】 大鋸屋地域づくり協議会（会長 松本久介） 助成額300,000円
 【申請者】 にほんご広場なんと（代表 前田啓子） 助成額180,000円
 【申請者】 まなごしなんと（代表 高橋佳寿江） 助成額300,000円
- 「第3回 頑張る人・地域応援事業」 募集期間 2021年5月1日～5月31日
選考会 5月14日 採択件数4件（応募件数5件）
 【申請者】 （一社）Casaつむぐプロジェクト南砺（代表 堀宗夫） 助成額300,000円
 【申請者】 （一社）ジソウラボ（代表 島田優平） 助成額300,000円
 【申請者】 （NPO法人）なんと元気（代表 富田健） 助成額150,000円
 【申請者】 東太美地域づくり協議会（会長 高瀬須美夫） 助成額150,000円
- 「第4回 頑張る人・地域応援事業」 募集期間 2021年10月1日～10月31日
選考会 11月15日 採択件数3件（応募件数4件）
 【申請者】 池川散歩みちグループ（代表 安居博） 助成額100,000円
 【申請者】 石井 和 助成額300,000円
 【申請者】 井波日本遺産推進協議会（会長 三谷直樹） 助成額300,000円
- 「第5回 頑張る人・地域応援事業」 募集期間 2022年5月2日～5月31日
選考会 採択件数3件（応募件数5件）
 【申請者】 NANTO移住者コミュニティ「yui no wa 結の環」（代表 秋田啓秀） 助成額300,000円
 【申請者】 南砺市さわやかネットワーク（代表 長井久美子） 助成額220,000円
 【申請者】 ボーイスカウト南砺第3団育成会（代表 古瀬博） 助成額240,000円

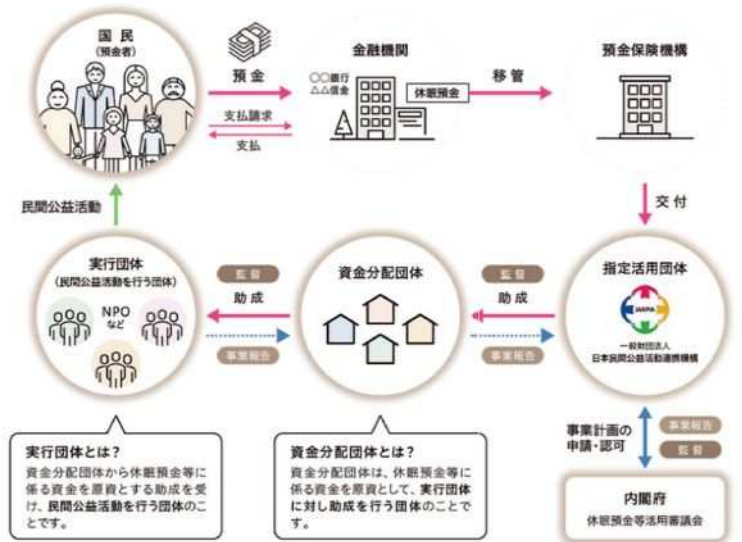




「休眠預金活用事業」とは

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（休眠預金等活用法）に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まりました。

休眠預金活用事業



南砺幸せ未来基金

南砺市における【休眠預金活用事業】の事例概要

休眠預金等活用に関する取組み

2020年度に引き続き、2021年度休眠預金活用事業の資金分配団体に採択されました。当財団が考えるテーマに沿った実行団体を公募し社会課題の解決に努めます。

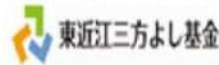
*この休眠預金活動事業は、(公財)南砺幸せ未来基金、(公財)うなんコミュニティ財団、(財)東近江三方よし基金のコンソーシアムにて実施します。



南砺幸せ未来基金



うなんコミュニティ財団
UNNAN COMMUNITY FOUNDATION



東近江三方よし基金



(公財)南砺幸せ未来基金は「資金分配団体」として、採択されました。(2020年度・2021年度)

休眠預金事業助成金額

2020年度
29,400,000円

2021年度
57,300,000円

| 2020年度_助成実行団体 | 事業名 |
|-----------------|---|
| 社会福祉法人マーシ園 | 引きこもりや精神障害があり孤立状態の人に社会参加の環境を創る |
| 株式会社ガラバゴス | 桜ヶ池キャンプ場(キャンプ場における障がい者とひきこもりの方を雇用することにより社会に繋げる) |
| なんとおせっ会 移住応援団 | 空き家対策・移住・定住促進事業 |
| テラまちコネクト | お寺初!おかあさん目線の雇用創出事業 |
| 2021年度_助成実行団体 | 事業名 |
| 一般社団法人 さざんくろす | 色々な障がいを知って繋がる場所づくり |
| 農事組合法人 大鋸屋営農組合 | 中山間地の地域コミュニティを維持し、誰もが安心して暮らせる地域共生社会を目指す |
| 特定非営利活動法人よってカフェ | 生きづらさを抱える人も幸せになれる地域の居場所づくり |



事業指定寄付プログラム



応募資格

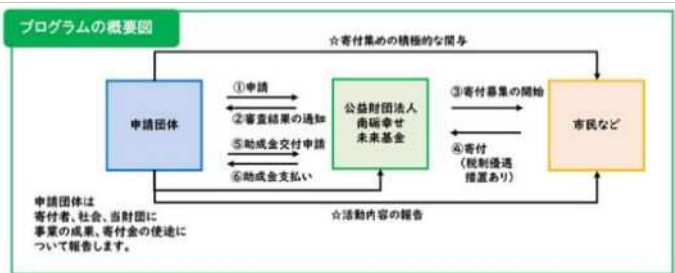
南砺市内にて活動を行う団体
NPO法人、任意団体、市民活動団体、
地域づくり協議会、自治会、地縁団体等

ただし個人は対象としません。

「事業指定寄付プログラム」とは

(公財)南砺幸せ未来基金は、南砺市内の課題の解決に真摯に取り組む市民活動を支える社会をつくるために、広く寄付を募り、寄付文化を創り出すことを目的に「事業指定寄付プログラム」を行っています。

公益財団法人南砺幸せ未来基金の仕組み(税制優遇、ホームページやSNSなど)を使って、寄付集めを申請団体が積極的に行い、(公財)南砺幸せ未来基金を通して寄付金を助成金として受けることができます。(寄付募集期間は採択より1年以内)



地域内資金循環のしくみ



電子地域通貨の
調査・研究

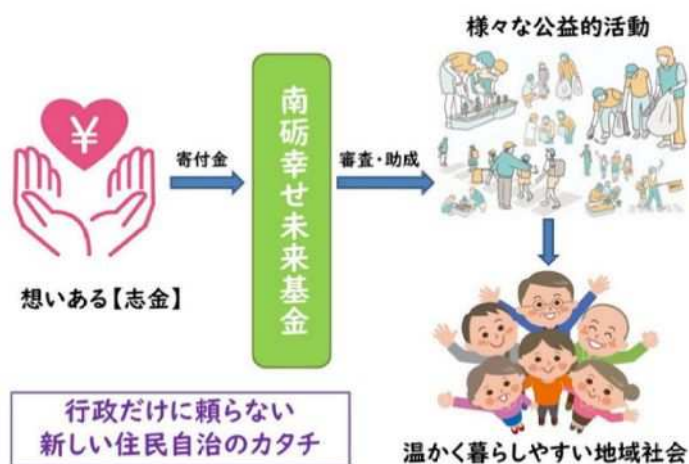


土徳コインプロジェクト

地域内志金循環を実現し、南砺で具体化できる「地域通貨モデル」を構築をめざす。
南砺幸せ未来基金として、市民フォーラム等の開催などを通じて市民の意識の醸成をはかります。

寄付文化醸成のための普及啓発

情報発信を通じて、寄付文化の醸成に努めています



行政だけに頼らない
新しい住民自治のカたち



「南砺幸せ未来基金」 SNS
<https://www.facebook.com/nantolocalfund>
https://www.instagram.com/nanto_local_fund/
<https://twitter.com/NantoLocalFund>

これまでの活動支援実績

応援金（寄付金）総額

20,212,081円

活動支援団体

29団体

(2022年11月7日現在)